

ディプロマ・ポリシーの達成及び大学満足度の検証  
－卒業時の成長実感と大学の学びの振り返り－  
(2022年度卒業時アンケート結果より)

活水女子大学 IR センター

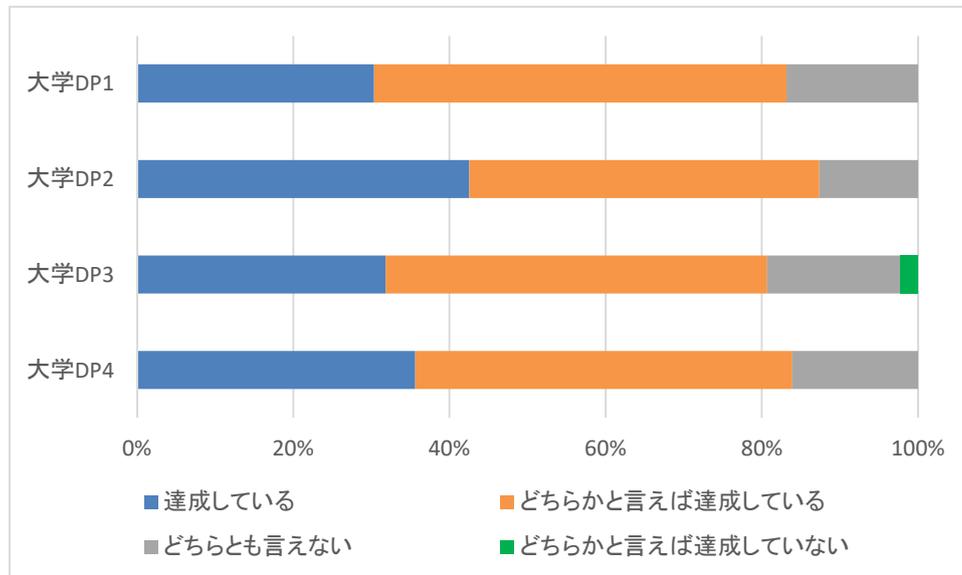
2023年5月

## 目次

1. ディプロマ・ポリシーの達成度	1
1-1. 大学全体	1
1-2. 学科別	2
2. 成長実感	9
2-1. 大学全体	9
2-2. 学科別	10
3. 満足度	17
3-1. 教育課程・教育支援	17
3-2. 教育内容・環境	18
3-3. 設備・学生支援制度	19
4. 入学時の大学志望度×卒業時の充実度	20
5. 入学時の大学志望度×就職先志望度	20

## 1. ディプロマ・ポリシーの達成度

### 1-1. 大学全体 (n = 89)



DP1 (建学の精神)：本学の建学の精神を理解し、自らも世界観と人間観について深く思索・探究する。

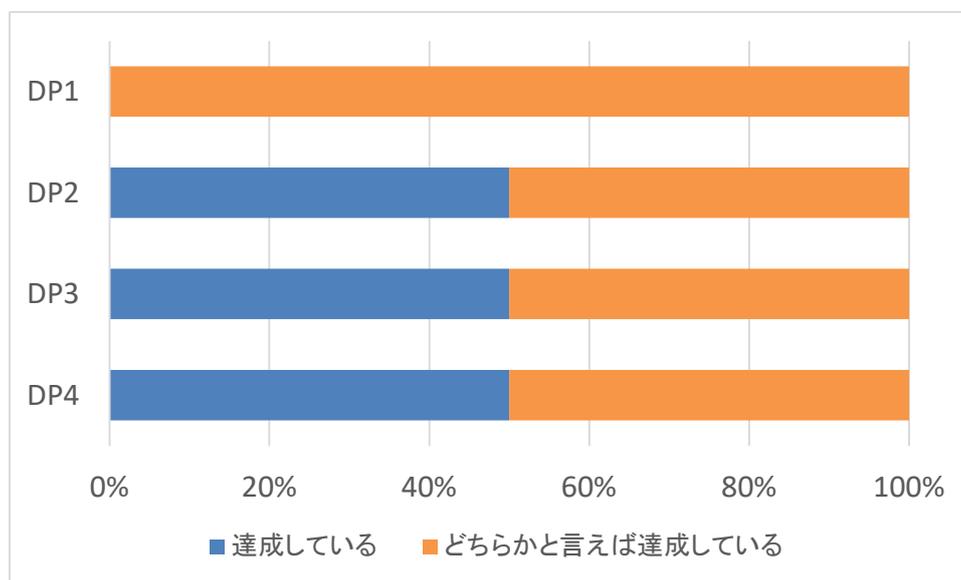
DP2 (人間としての尊厳)：自分と他者の個人としての尊厳を重んじ、平和で民主的な社会の担い手になれる。

DP3 (職業人)：広い教養と高等教育で培われた専門的知識や技能を具えて、職業人として経済的に独立していける。

DP4 (広い視野に立つ社会人)：生涯学習の展望に立って学び続け、他者と共働して、国際的な視野を持つ社会人として、地域や人類社会の福祉と発展に貢献する意志を持つ。

## 1-2. 学科別

### (1) 英語学科 (n = 2)



DP1. 他者の意見や価値観を尊重することができ、国際的視野に立って連携して社会に貢献する力を備えている。

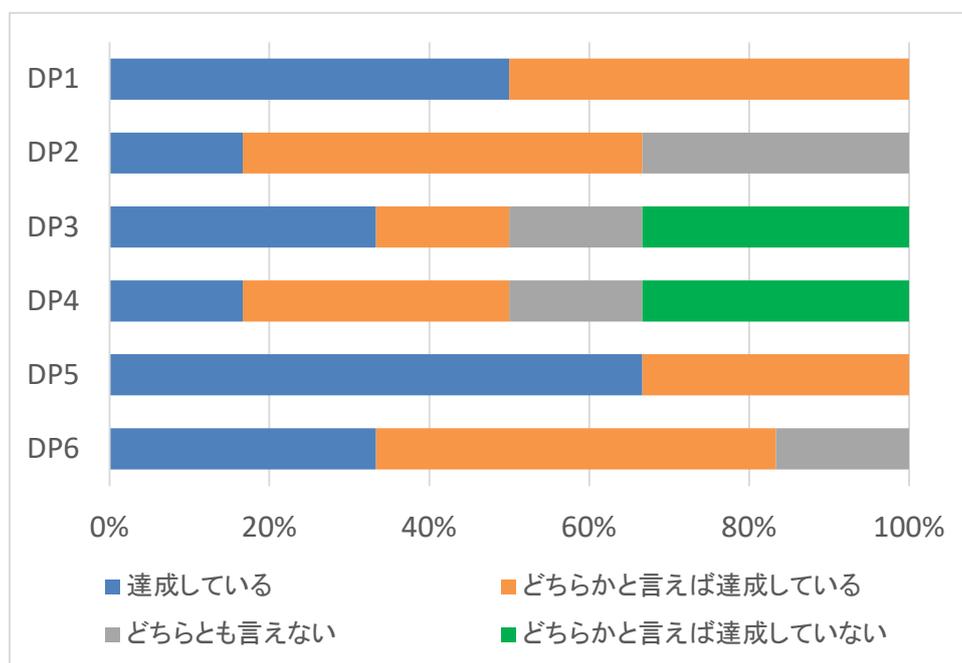
DP2. 英語圏の国々をはじめとする諸外国の言語・文学・文化を学び、その背景にある社会や歴史に関する知識を修得している。

DP3. コミュニケーションのための英語運用能力を修得している。

【検証に用いる項目】：「外国語の運用能力」「コミュニケーションの能力」

DP4. 明晰かつ批判的に思考することができ、論文、発表として表現できる。

(2) 日本文化学科 (n = 7)



DP1. 日本文化に関わる事象の特徴・特色に関心を持ち、それを発見しようとし、それを応用して社会に貢献しようとする態度を身につけている。

DP2. 日本語・日本文学・日本史・日本の地域・日本の社会を包摂する日本文化の基本的知識をもち、その構造を理解している。

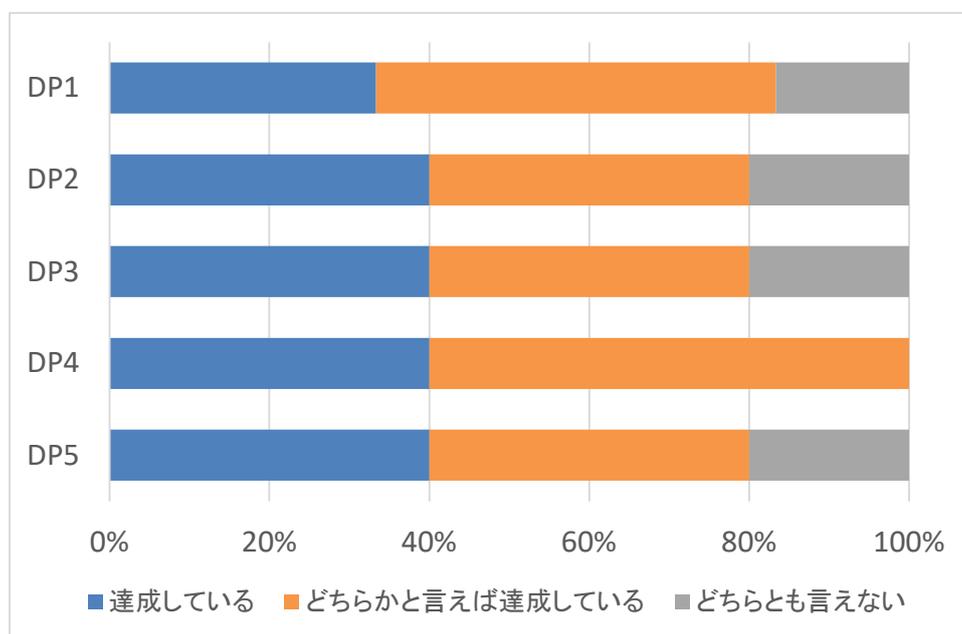
DP3. 日本文化に関わる高度な知識・理解・表現力に基づいて、国語教員・日本語教員・司書として必要な専門的能力を修得し、あるいは地域の課題を解決する提案や組織の経営に関わる企画を作成し、実行に移す能力を獲得している。

DP4. 日本文化についての知識・理解をもとに、日本国内外の地域や社会の問題点に気がつき、解決する方法を考える志向を身につけている。

DP5. 日本文化を踏まえて異なる文化や異なる思考を同等の価値を持つものとして評価することができる。

DP6. 日本文化について考察して、その全体または部分を表現できる。

(3) 音楽学科 (n = 5)



DP1. 専門技術と音楽知識に関心を持つとともに、体得する姿勢を持ち、自らの音楽キャリアを築くための社会人としての力を身に付けている。

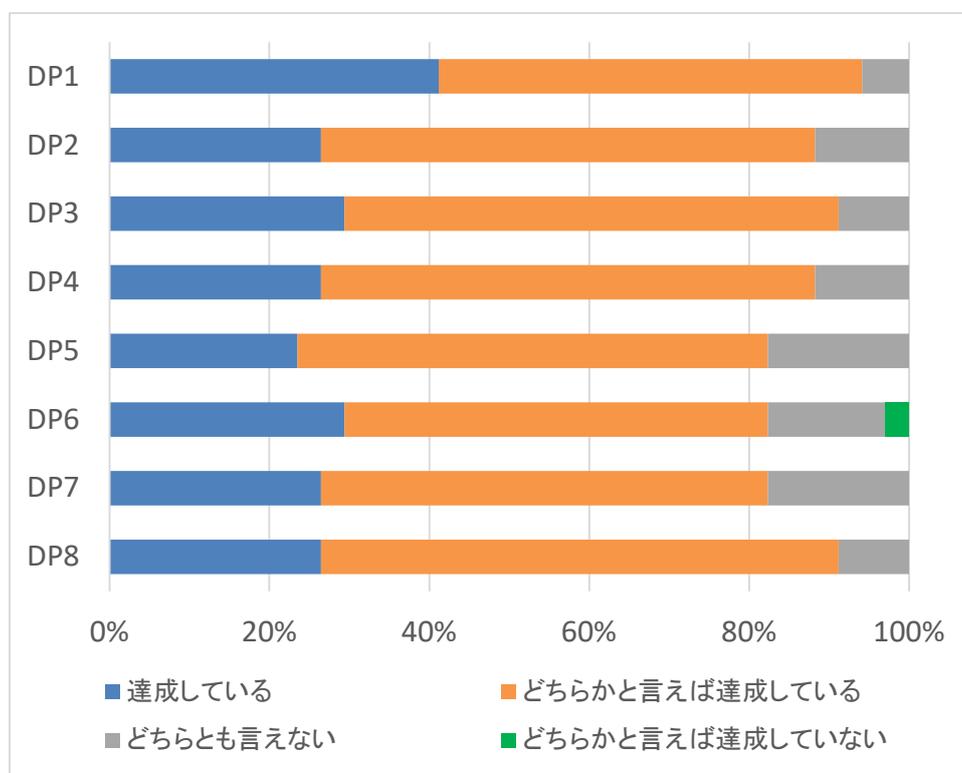
DP2. 専攻する領域、多様な音楽分野に関する体系的な知識を持っている。

DP3. 専攻する領域に必要な技術を持ち、問題解決に応用できる能力を身に付ける。

DP4. 音楽の様々な領域で協力して創り上げるための専門技術、コミュニケーション能力、文章能力を持つ。

DP5. 専攻分野および社会の事象を多角的に判断する力を持ち、自身で思考することができる。

(4) 食生活健康学科 (n = 34)



DP1. 人々の健康と幸福に寄与したいという熱意を有する。

DP2. 専門的知識やスキル向上のために自己研鑽を惜しまない姿勢を有する。

DP3. 人間の健康の維持・増進および疾病の発症予防・重症化予防に関する専門的知識を有する。

DP4. 疾病の発症予防・重症化予防の栄養管理ができる。

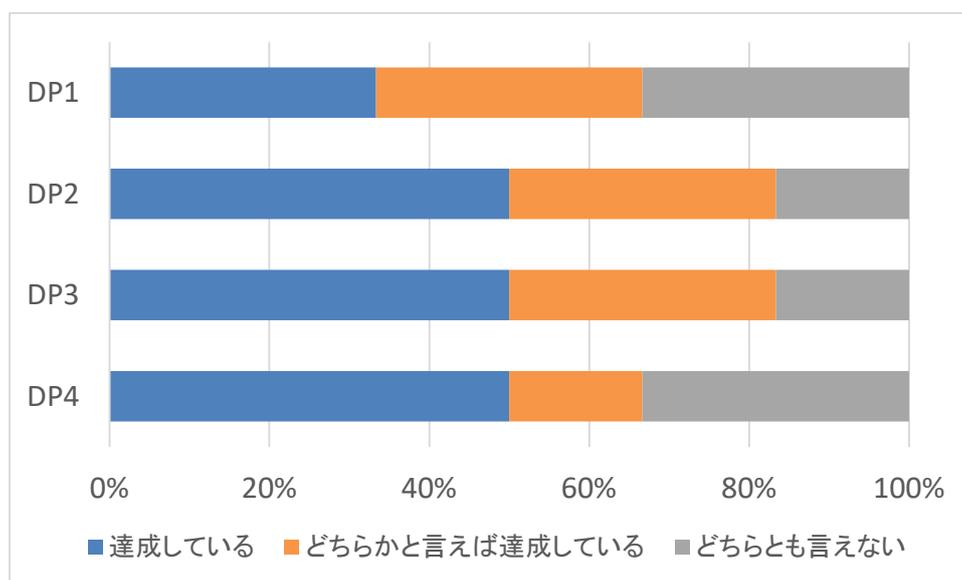
DP5. 対象者に応じて給食経営管理ができる。

DP6. 管理栄養士として適切に他者とコミュニケーションをとることができる。

DP7. 科学的な根拠に基づいて対象者の健康状態を分析できる。

DP8. 栄養ケアプランを立てることができる。

(5) 生活デザイン学科 (n = 6)



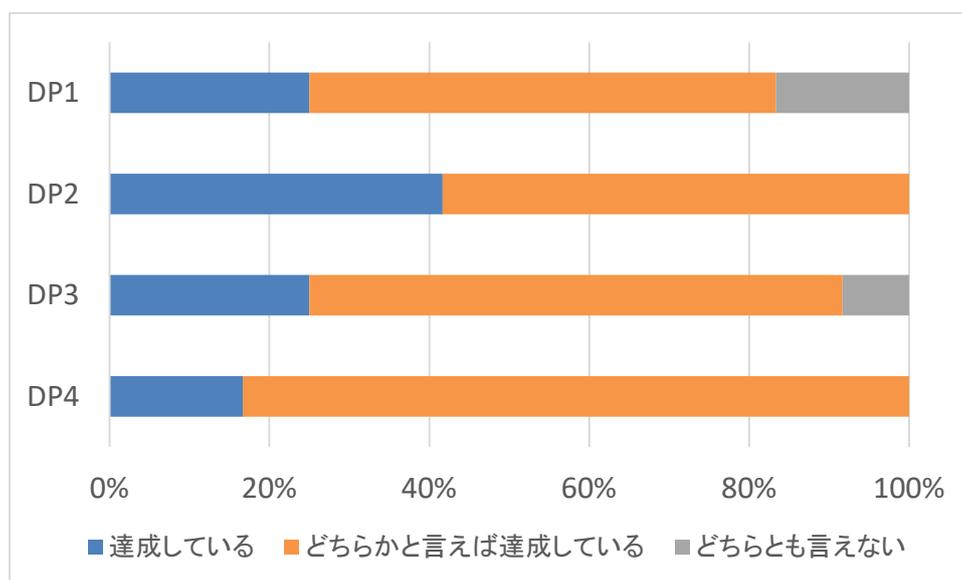
DP1. 地域・社会において、生活の向上のために貢献する意志と姿勢を有している。

DP2. 生活デザインに関する専門知識を修得している。

DP3. 生活デザインに関する専門技術を修得している。

DP4. 生活者の視点から問題を発見し、解決し、表現する能力、およびコミュニケーション能力を修得している。

(6) 子ども学科 (n = 12)



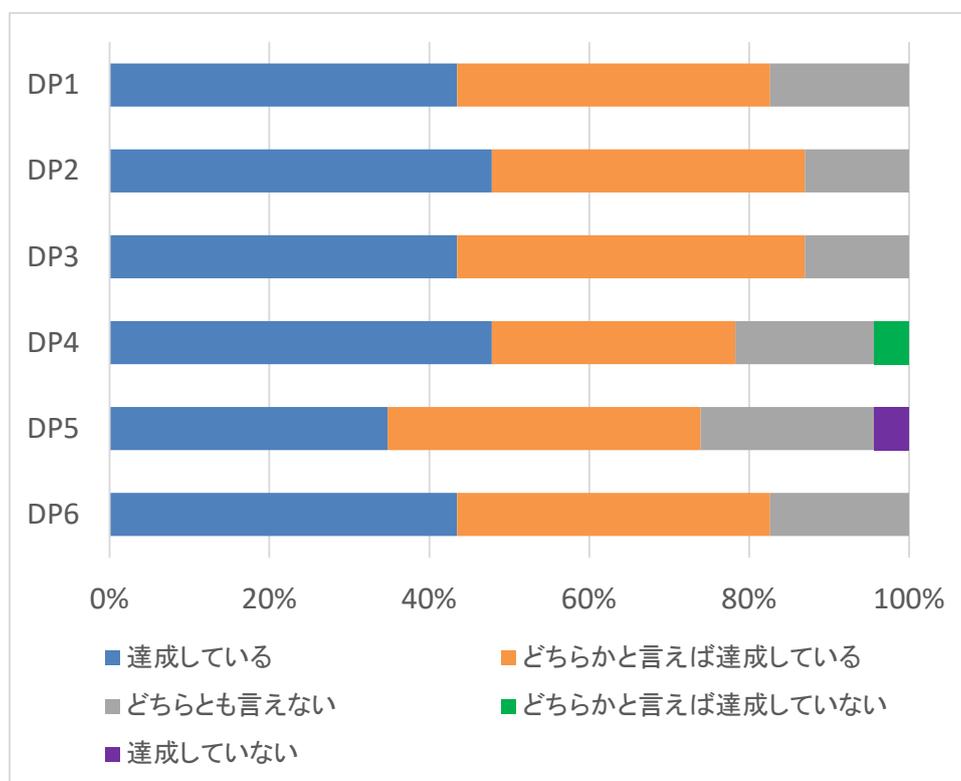
DP1. ボランティア活動や地域貢献における様々な人間関係を通して自己管理および生涯にわたり、学ぶ姿勢を継続できる。

DP2. 現代社会において子どもや家庭の抱えている生活問題とその解決の在り方を社会全体との関係性のなかで理解する。

DP3. 実習を通して総合的な保育・教育実践力を身に着け、実践し、保育・教育、子育て支援の場において現実的で適切な対応ができる。

DP4. 子どもの成長・発達についての確かな知識と技術を有し、主体的な学習の中で培われる創造的思考力を用い、問題解決に向けた実践に活かすことができる。

(7) 看護学科 (n = 23)



DP1. キリスト教の理念に基づく全人的理解を基盤とし、人間の尊厳を重んじ、人権の擁護ができる。

DP2. 対象となる人々やその家族、地域の人々の健康状態を把握し、看護を計画的に展開することができる。

DP3. 特定の健康問題に対応する基本的な実践ができる。

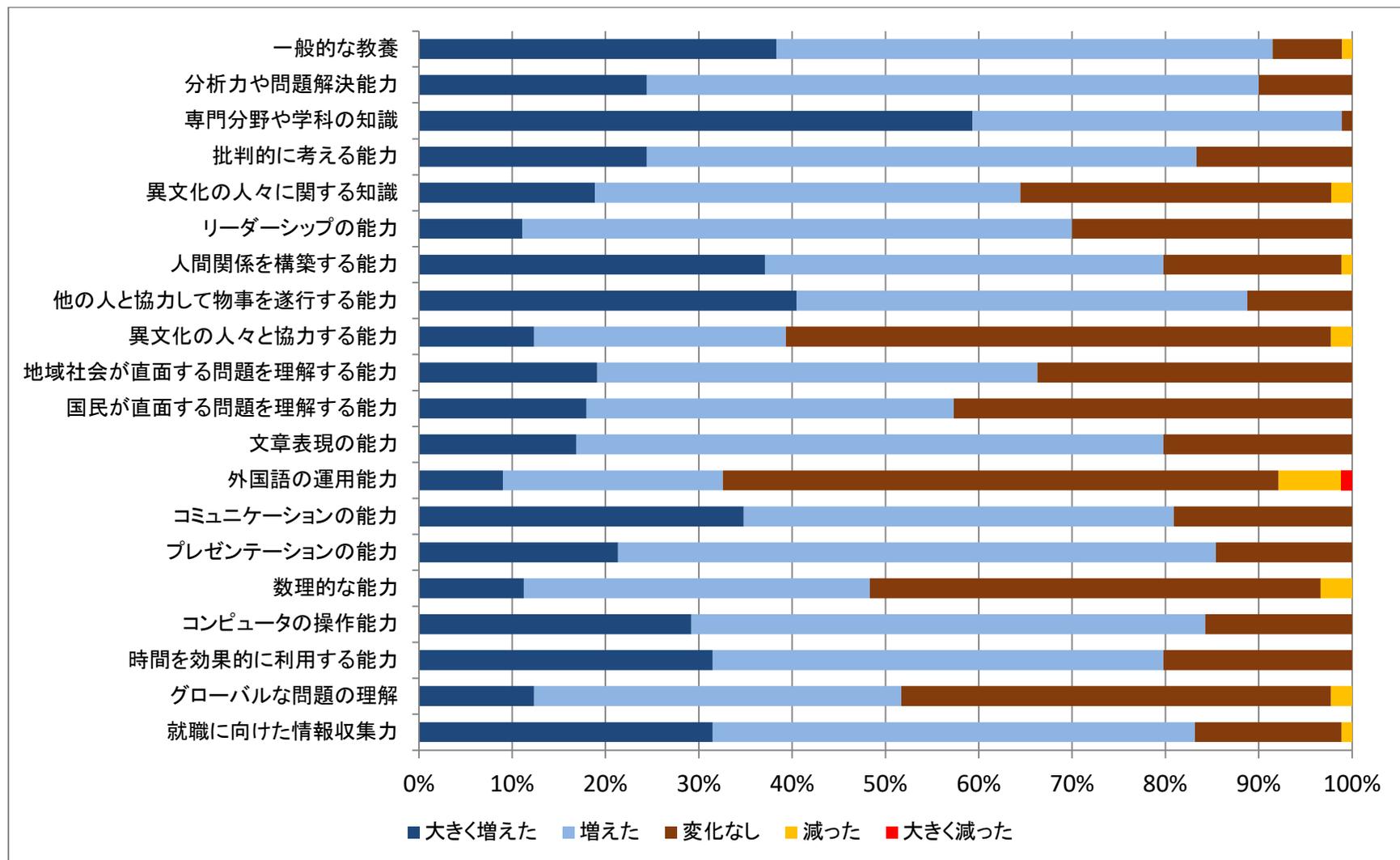
DP4. チームの目標達成や成長に向けて自己の責任・役割を理解し、メンバーシップを発揮しメンバーと協働することができる。また、チームの目標達成や成長に向けてメンバーの意識を高め、リーダーシップを発揮し集団の成果を上げるためにチームに働きかけることができる。

DP5. 国内外における看護の多様化に関心を寄せることができる。

DP6. 生涯にわたり自己研鑽しつづけることができるように、主体的に学修に取り組む力を身につけることができる。また、看護研究を通して、得られた研究成果をもとに、看護実践に活用できるとともに、看護研究のプロセスを実施できる。

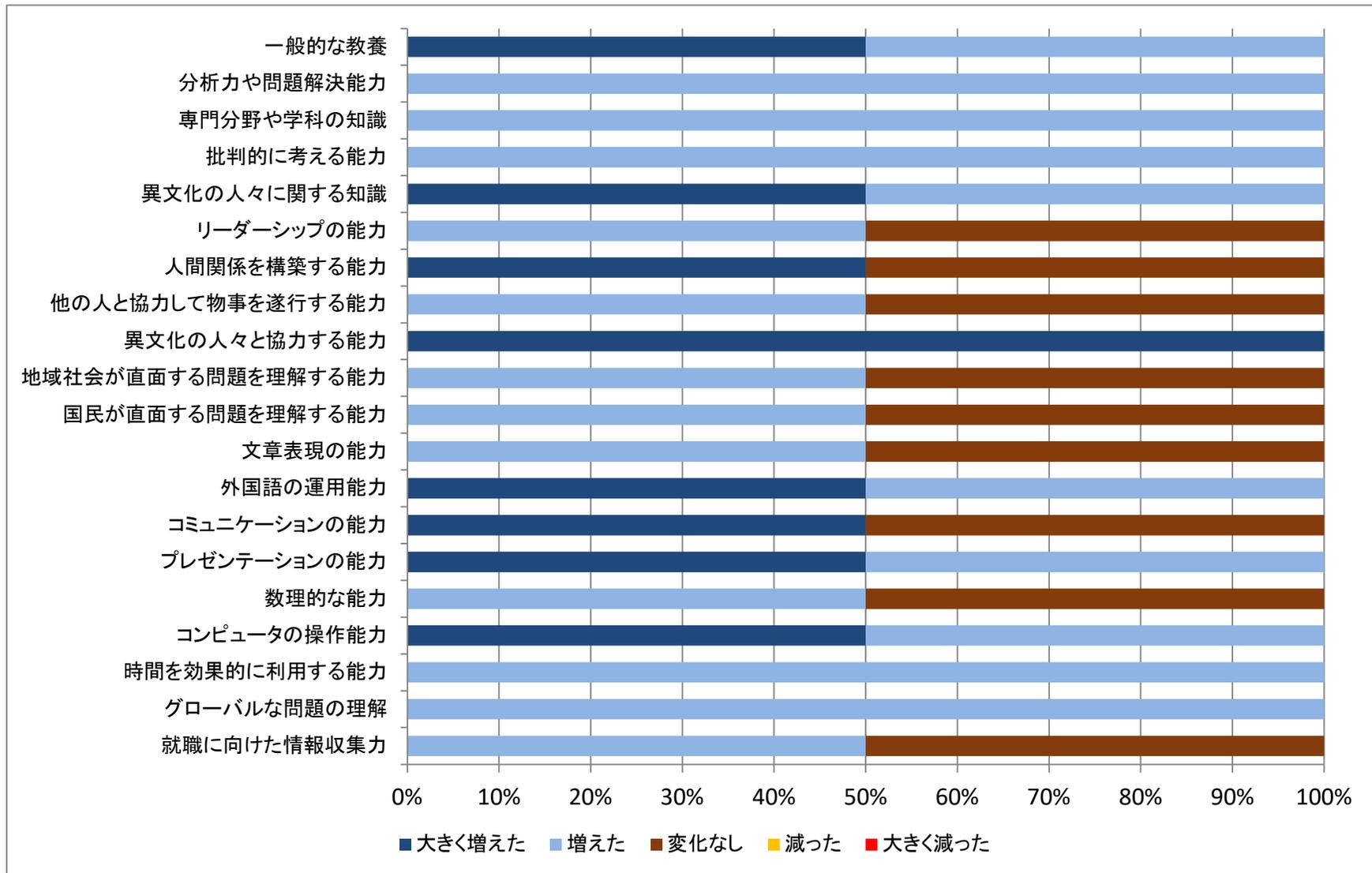
## 2. 成長実感

### 2-1. 大学全体 (n = 89)

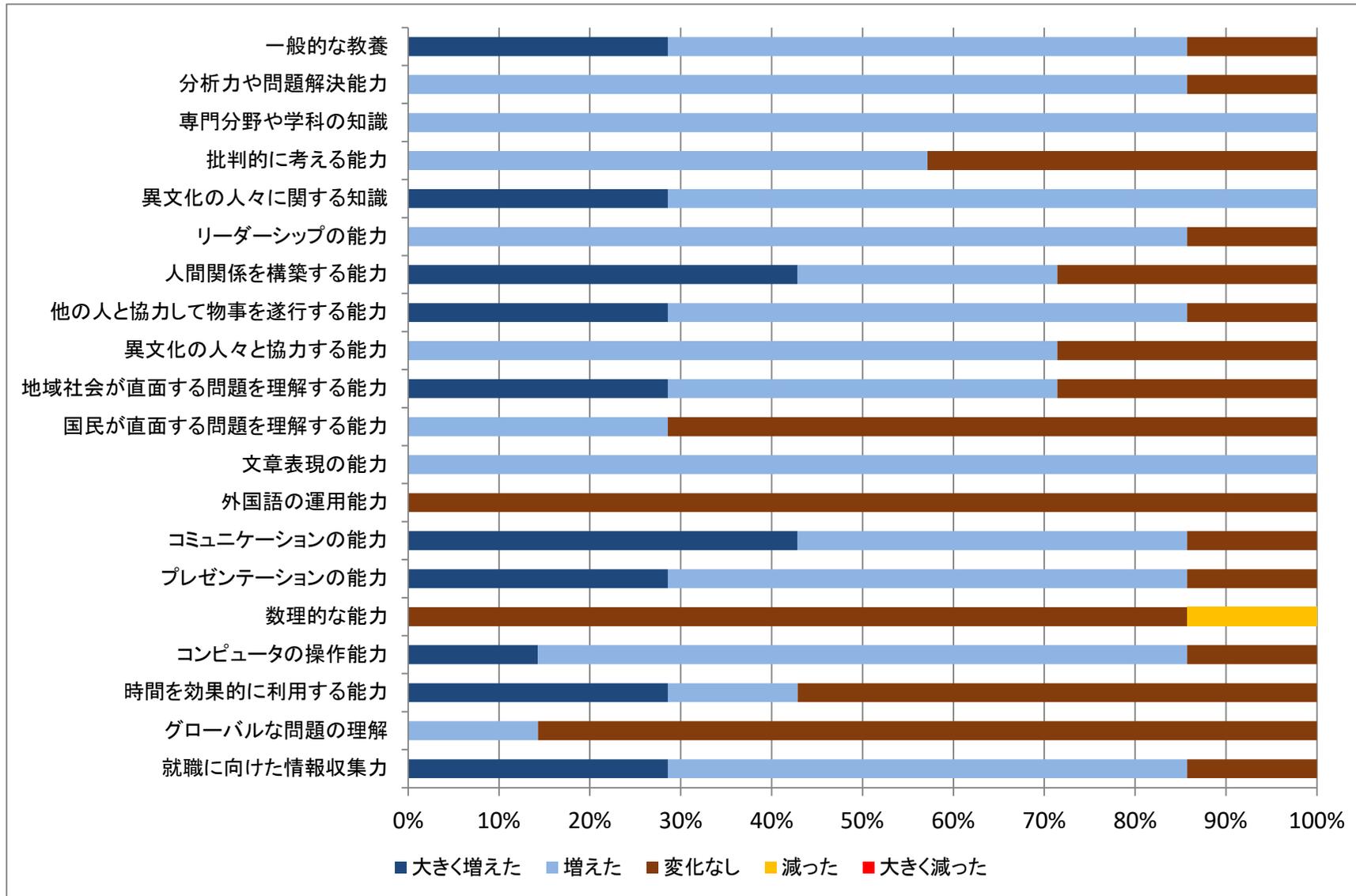


2-2. 学科別

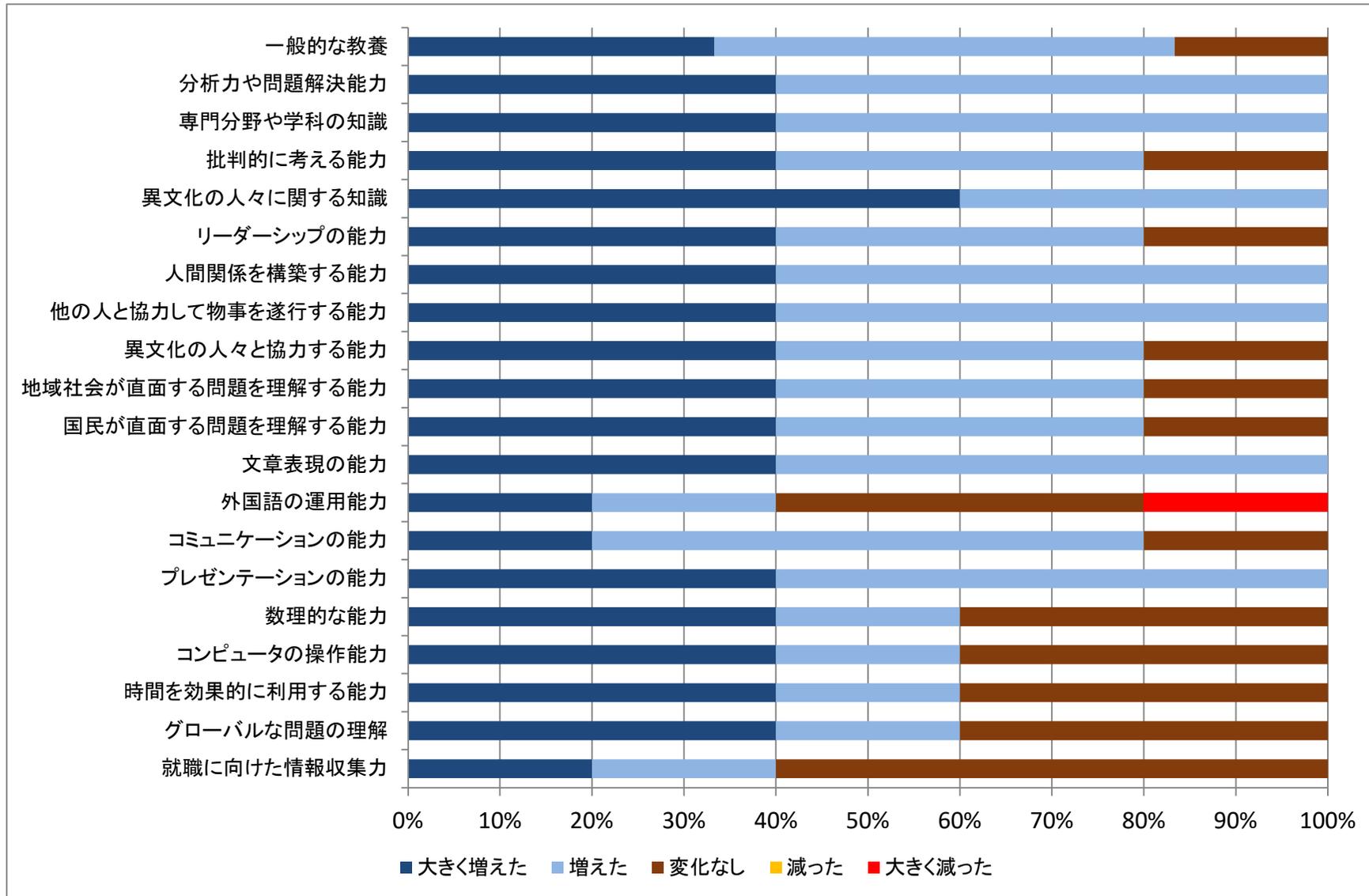
(1) 英語学科 (n = 2)



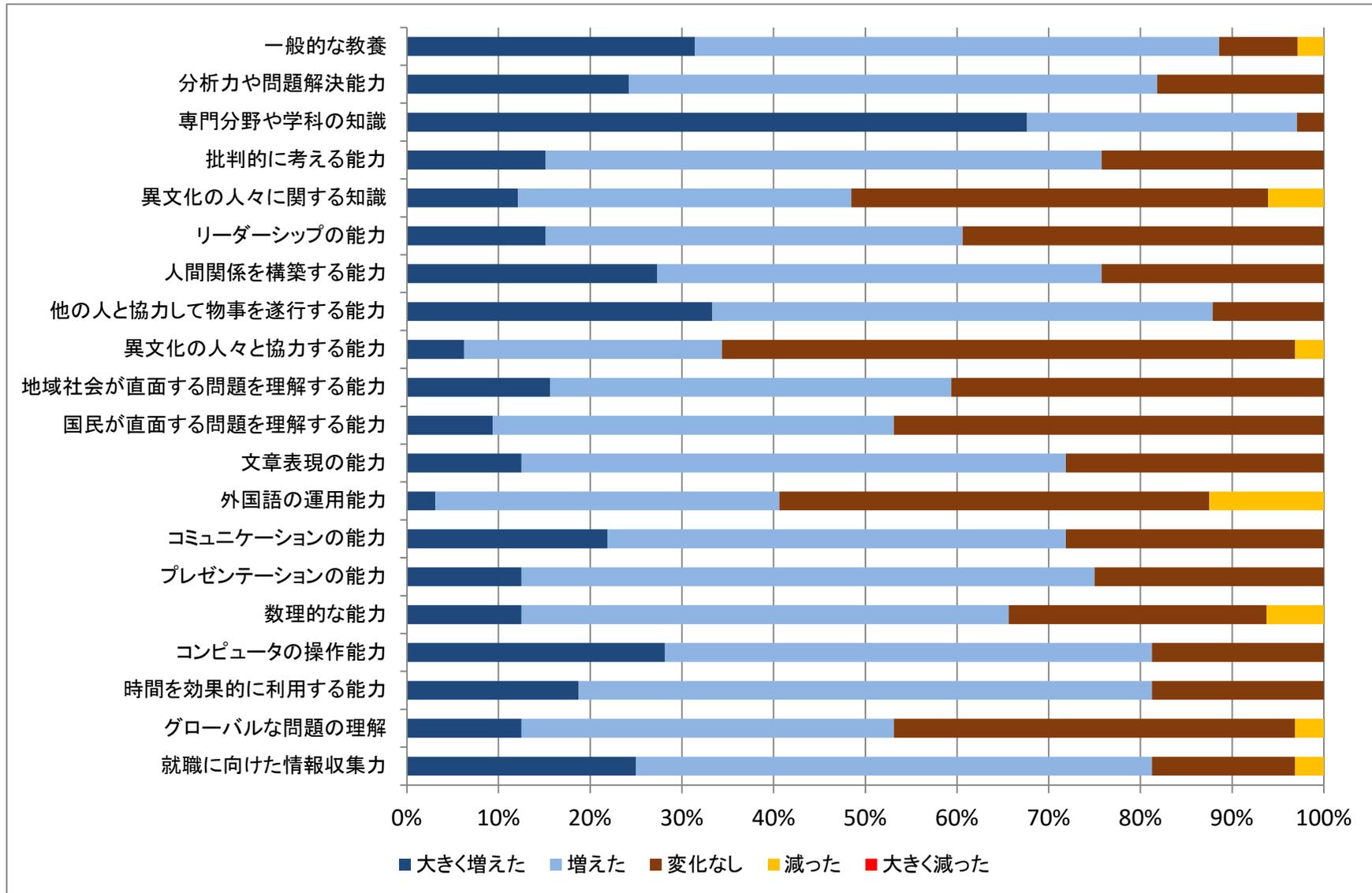
(2) 日本文化学科 (n = 7)



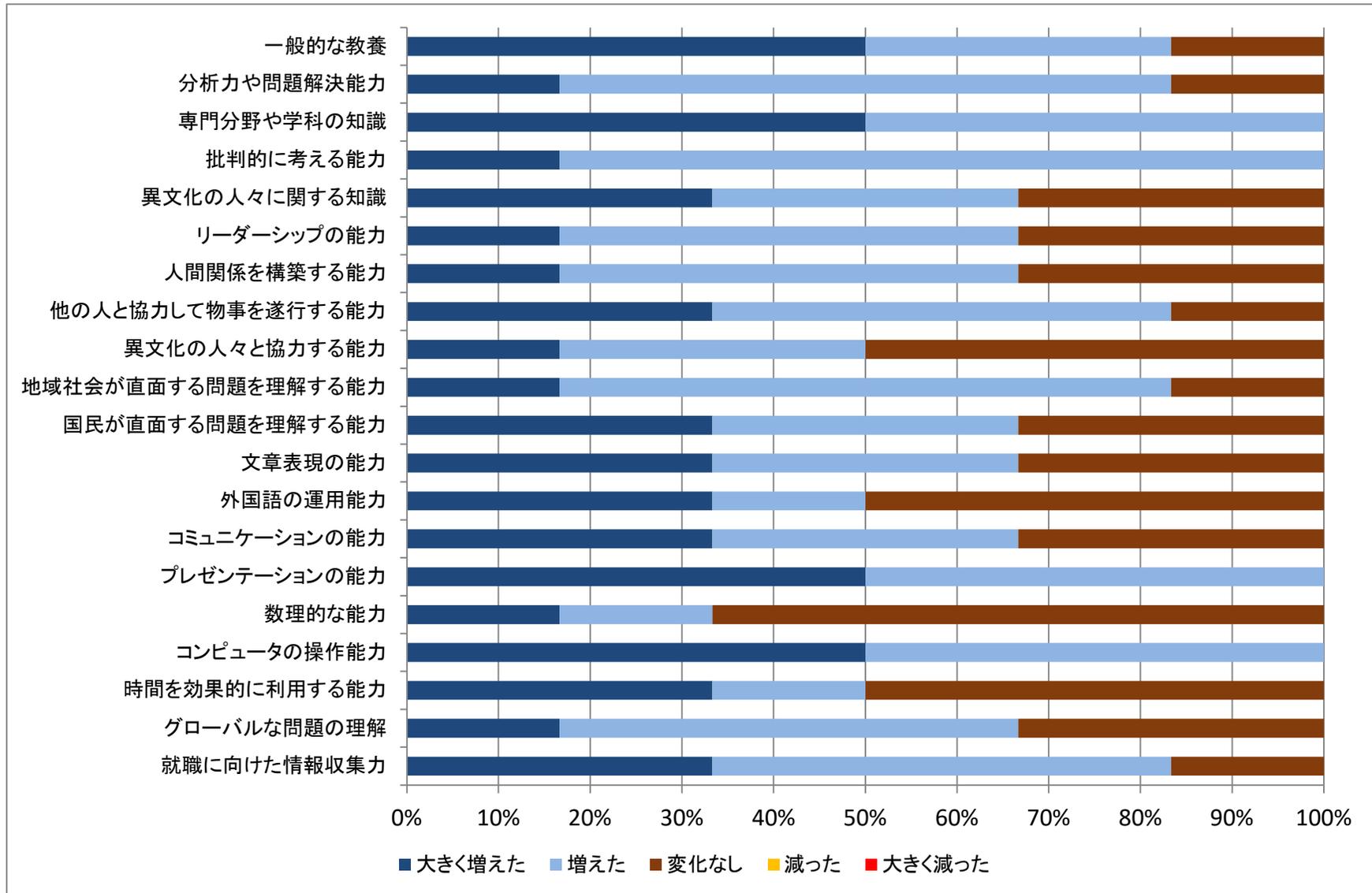
(3) 音楽学科 (n = 5)



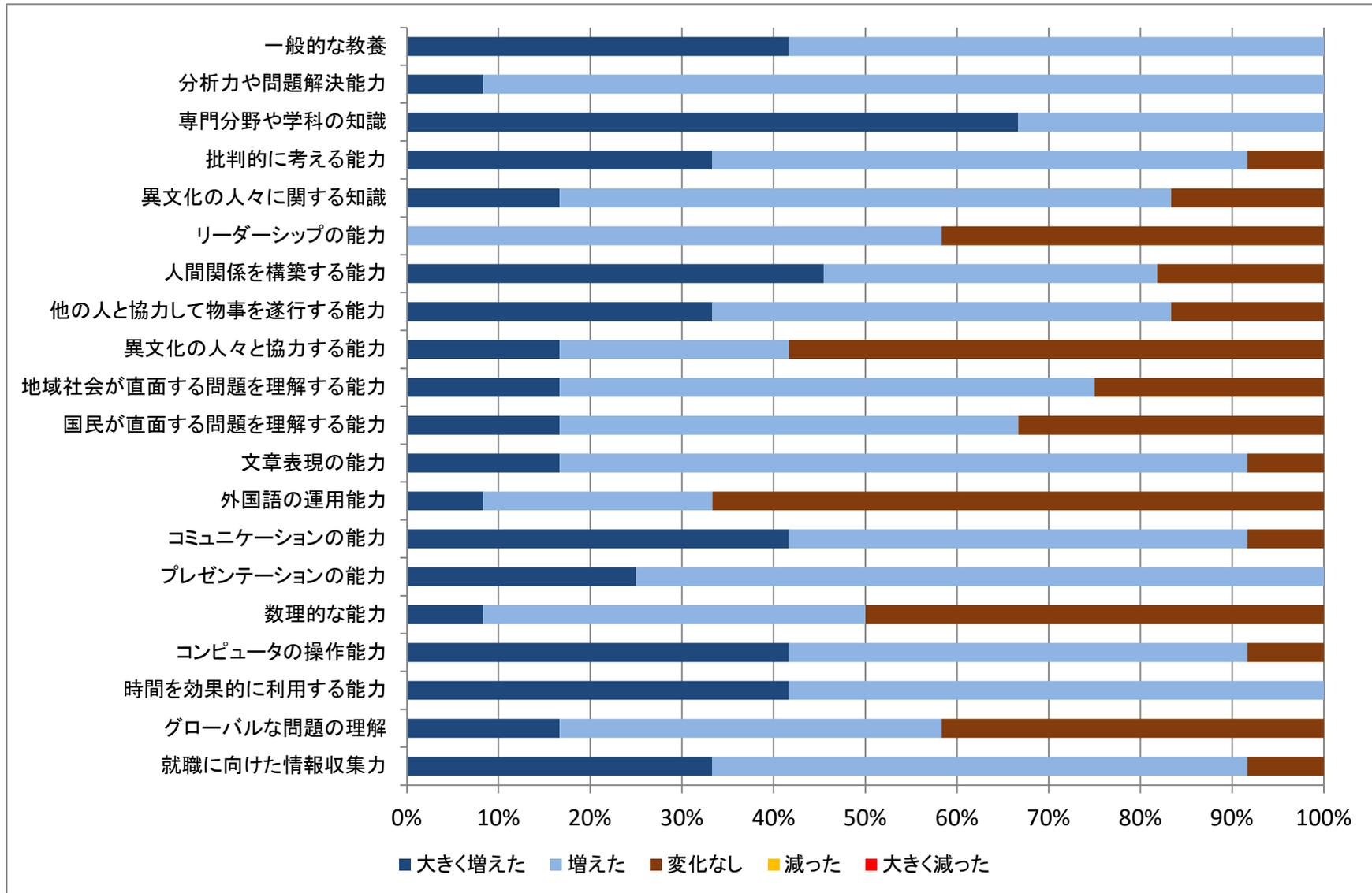
(4) 食生活健康学科 (n = 32)



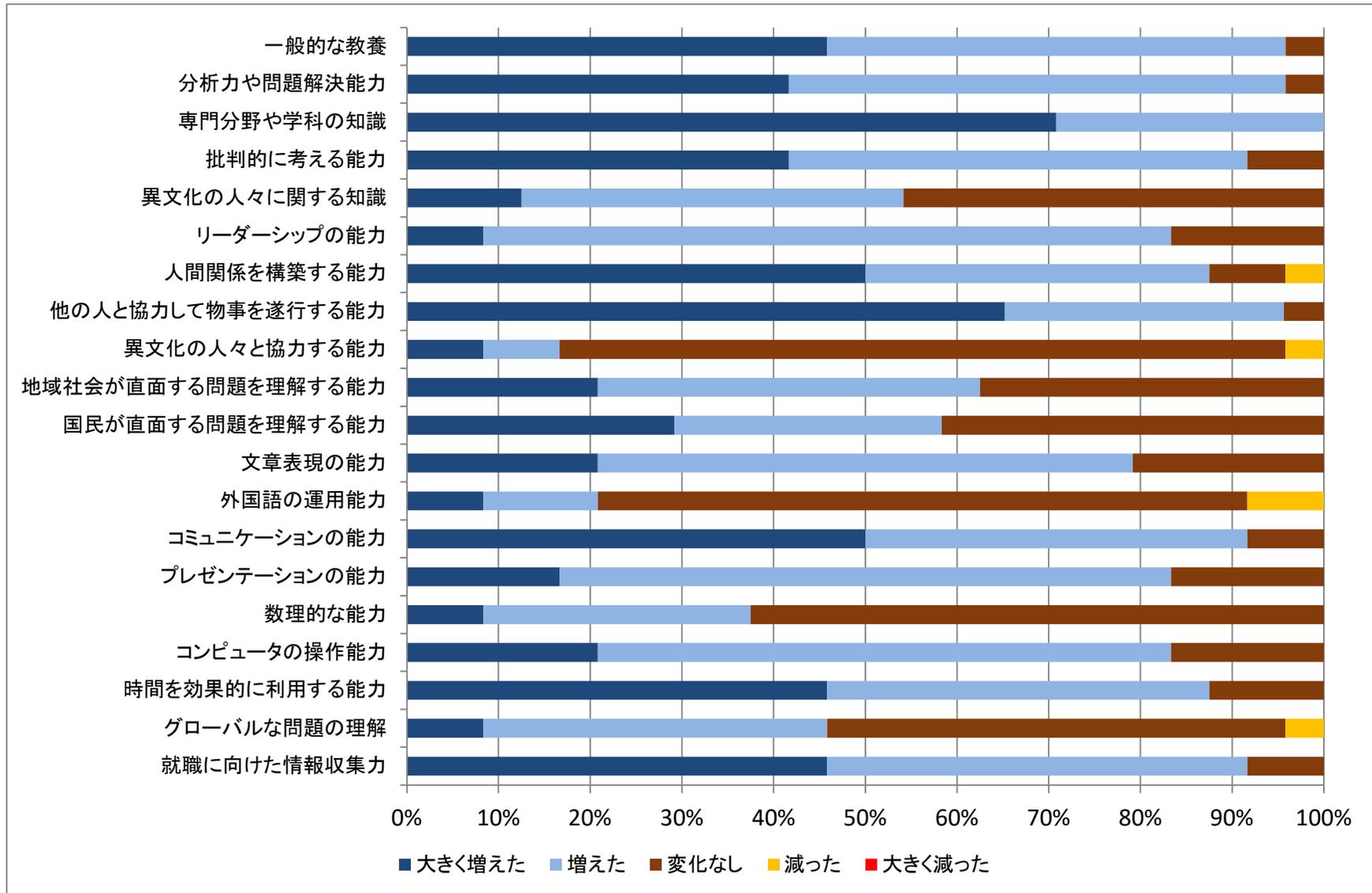
(5) 生活デザイン学科 (n = 6)



(6) 子ども学科 (n = 12)

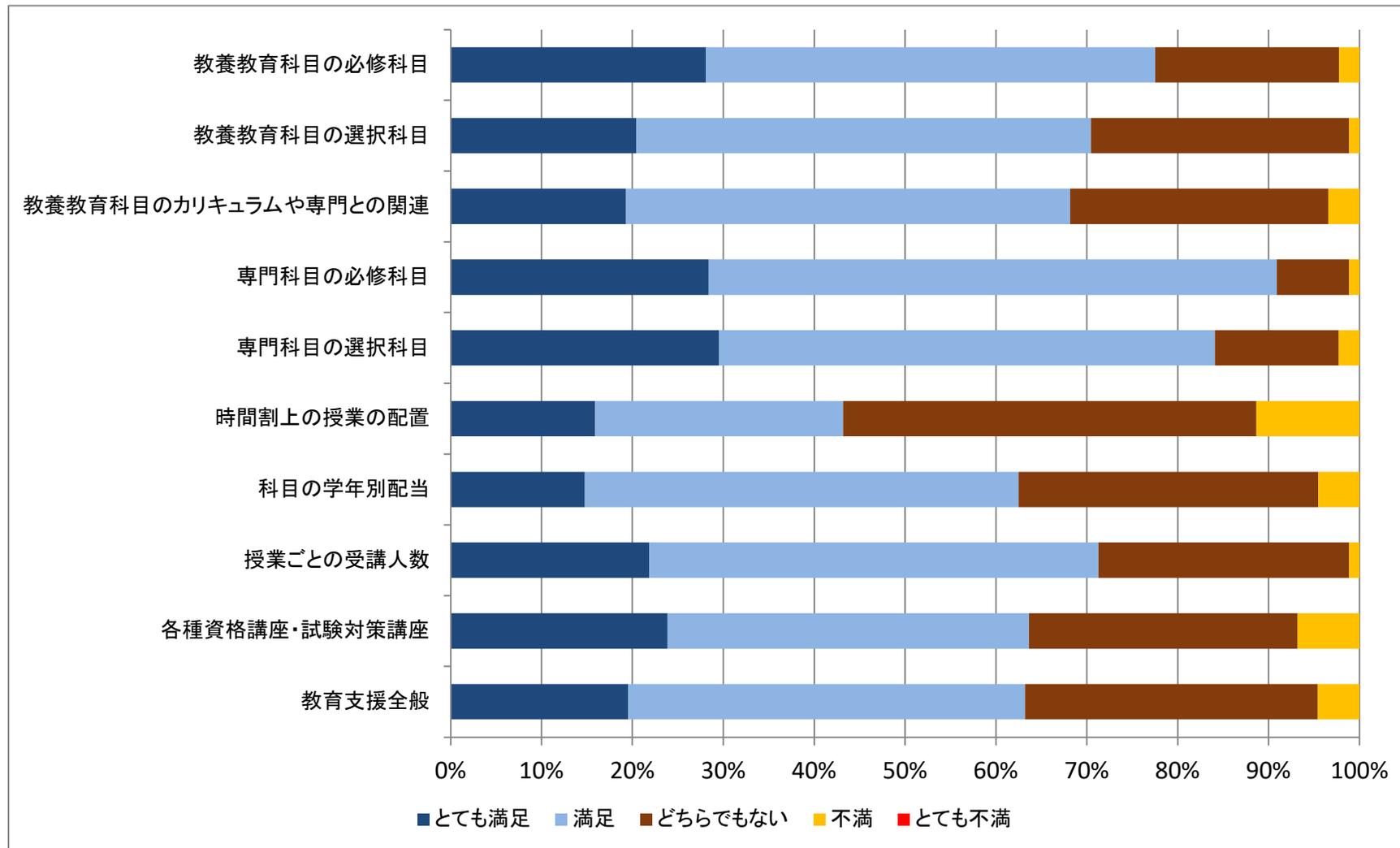


(7) 看護学科 (n = 23)

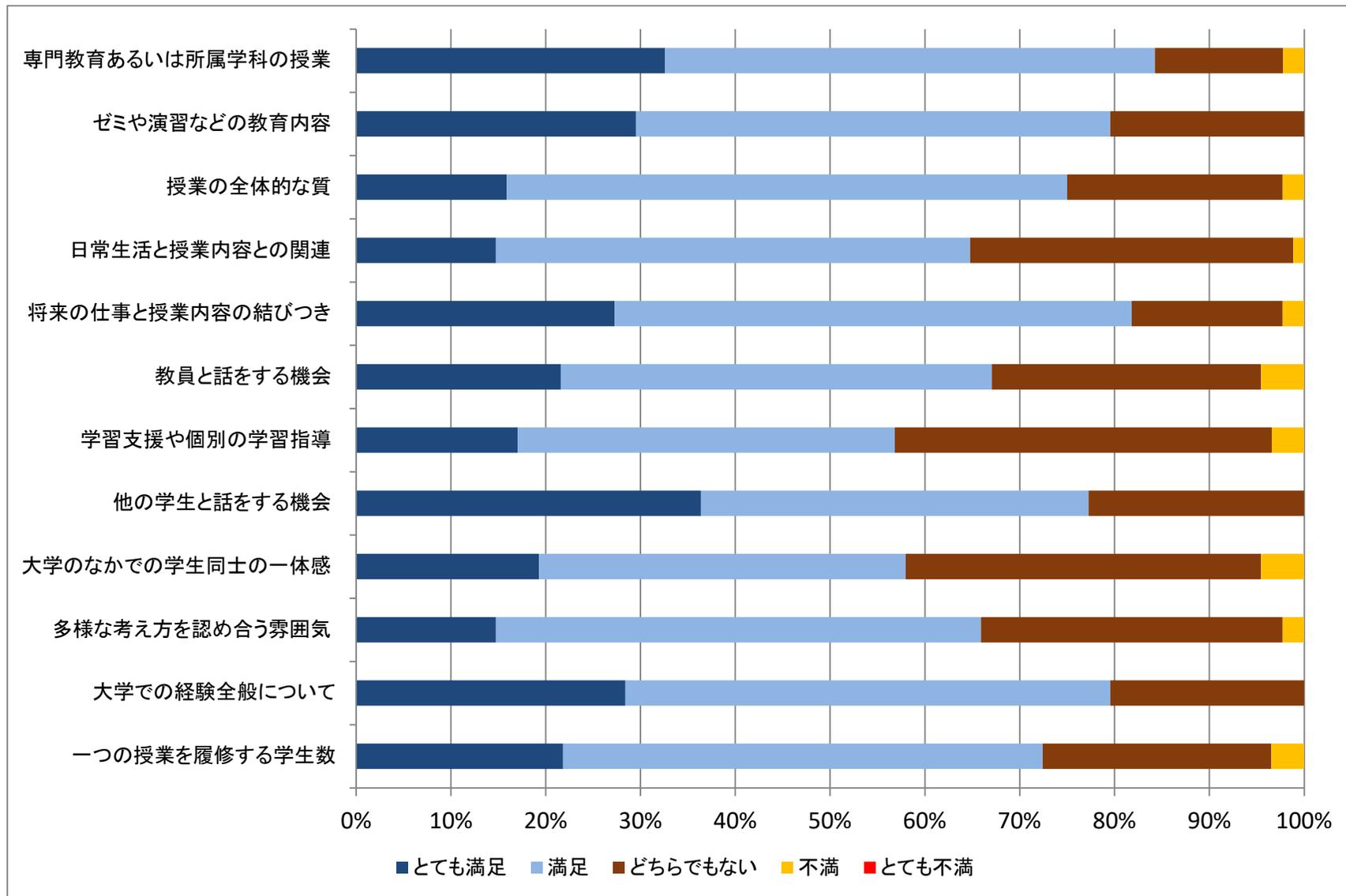


### 3. 満足度

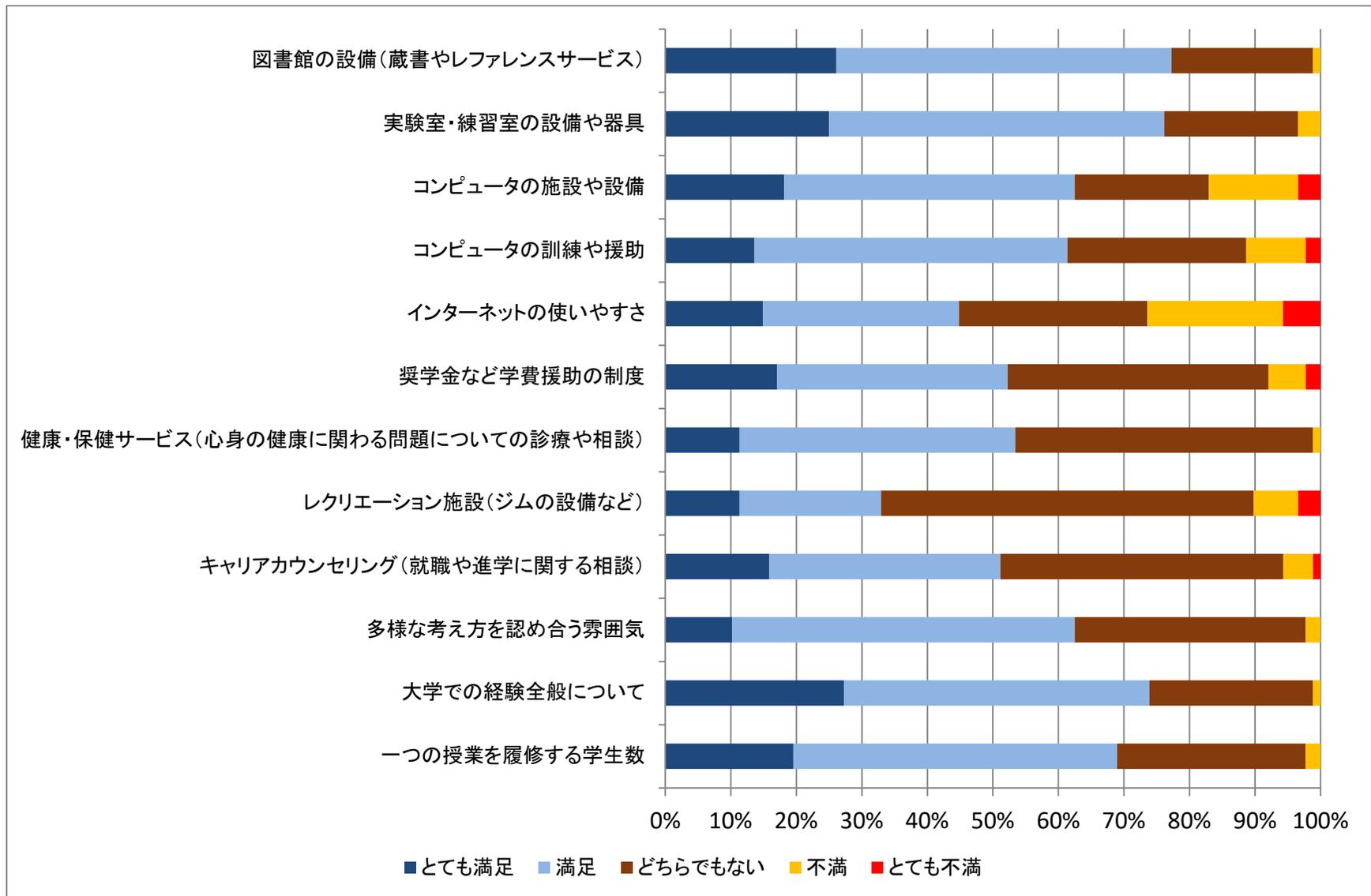
#### 3-1. 教育課程・教育支援



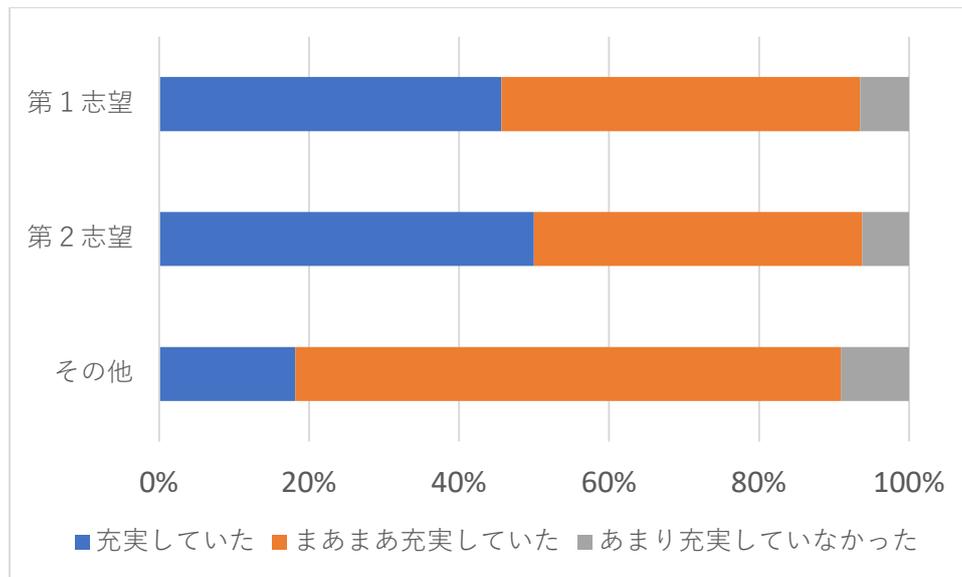
3-2. 教育内容・環境



3-3. 設備・学生支援制度



4. 入学時の大学志望度 × 卒業時の充実度 (n = 89)



5. 入学時の大学志望度 × 就職先志望度 (n = 72)

